



Title	ハラスメントの事例紹介と防止～学生何でも相談室の取り組み～
Author(s)	富永, ちはる
Citation	
Issue Date	2007-05-07
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/9251">http://hdl.handle.net/10069/9251</a>
Right	

This document is downloaded at: 2019-06-25T22:45:02Z

大学教育開発センター  
授業実践オリエンテーション

### ①ハラスメントの事例紹介と防止 ～学生何でも相談室の取り組み～

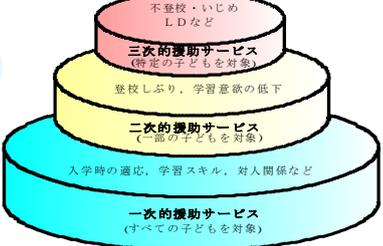


長崎大学「学生何でも相談室」カウンセラー  
富永ちはる(臨床心理士・学校心理士)

1

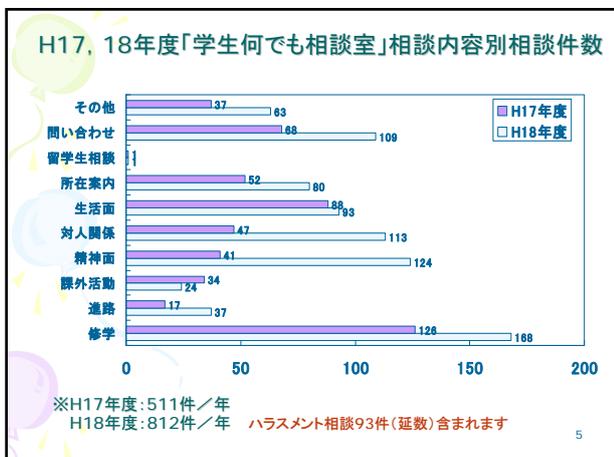
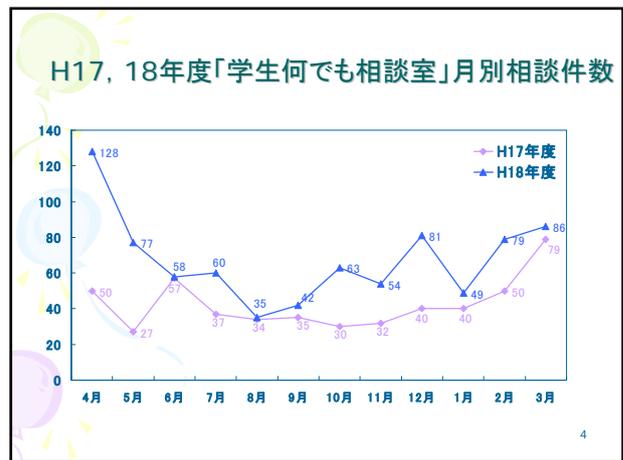
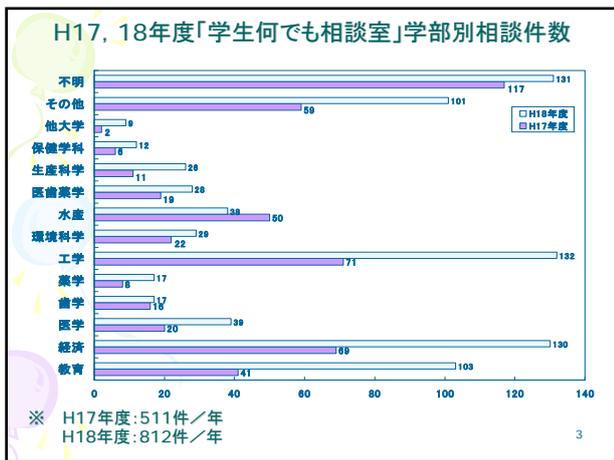
### 心理教育的援助サービスとして

- 石隈(2000)は、「学校教育において、一人ひとりの児童・生徒が出会う学習面、心理・社会面、進路面、健康面における問題の解決を援助し、成長することを促進すること」を心理教育的援助サービスと呼び、カウンセラー・教師・保護者・友達などがチームとしてサポートしていくことの大切さを述べている。



三段階の心理教育的援助サービス  
(石隈・田村式援助シートによるチーム援助入門－学校心理学・実践編－, 2002)

2



### ピア・サポートとは...

滝 充『ピア・サポートではじめる学校づくり 実践導入編』2002, 金子書房より

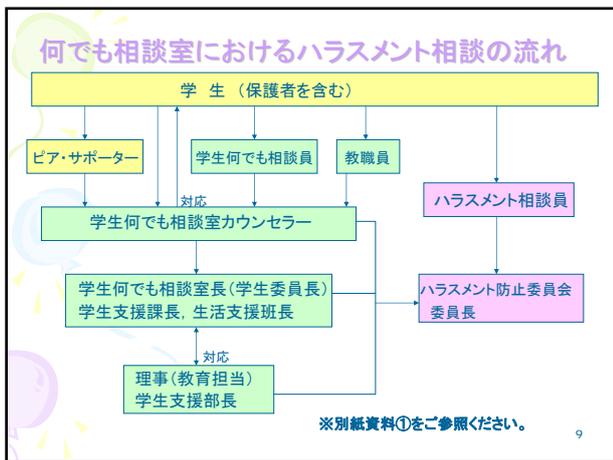
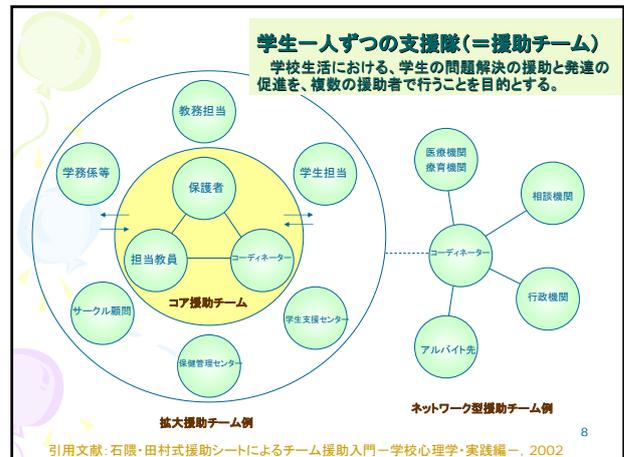
- 育ちの変わった今の子どもに「自己有用感」を獲得させることで、「対人関係能力」の貧困に由来する生徒指導上の諸問題を克服するために。
- 「お世話をする側」の子どもが、「お世話をする活動(他の人の役に立つ体験)」を通して、「自己有用感」を獲得することができる「仕組み」をつくることを目指して。
- 子ども同士の関わり合いを通して子ども自らが発達することのできる「学校づくり」を学校全体で取り組むことを目指して。
- 上級生が下級生を仲間(Peer)として支える(Support)活動であり、「予防教育的な生徒指導」である。

6

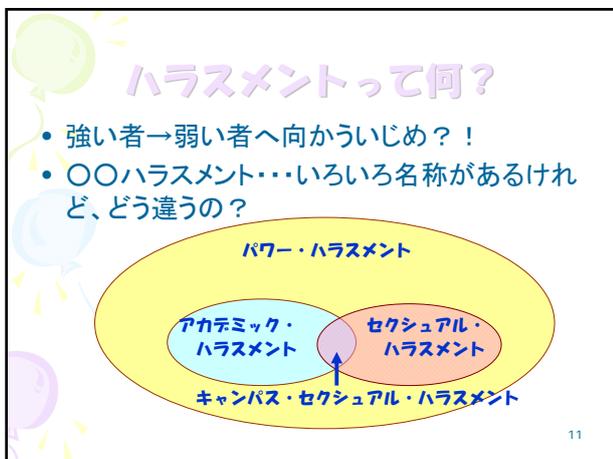
### 心理教育的援助サービスと大学におけるピア・サポート活動

3段階の援助(石原)	援助の基本(石原)	大学におけるピア・サポートの活動例
<b>1次的援助サービス</b> 対象:すべての子ども 入学時の適応, 学習スキル, 対人関係スキル	促進的・予防的援助。日々の関わりと行事を通しての能力の開発, 集団への援助。	・環境づくり。(ハラスメント防止キャンペーンなど) ・お兄さんお姉さん活動をする。(オリエンテーション, 異年齢交流など) ・仲間関係を活性化する。 ・仲間を大切にしたグループ運営。 ・学生たちの関心事に対するガイダンスを行う。(学習・進路・悩み・健康) ・協同学習を行う。
<b>2次的援助サービス</b> 対象:一部の子どもの 登校しづり, 学習意欲の低下など	一部の子どもたちの援助ニーズの早期発見と予防的関わり。	・仲間間で問題を解決する。 ・個人の悩みの相談を受ける。 ・個別の援助(仲間づくり, 学習)を行う。 ・気になる学生を見つけ, 相談にのったり, 他の援助者につなげる。
<b>3次的援助サービス</b> 対象:特定の子ども LD(学習障害), 非行など	チームによる援助, 個別教育計画の作成と実施。	・スーパーバイザーの指導のもとで, ターゲットになる学生の援助を行う。

引用・参考文献  
森川 透男 / 監修 菱田 準子 / 著『すぐ始められるピア・サポート指導案&シート集』2002, ほんの森出版 7



- ### 対人関係相談
- ・ 教室内関係・友人関係・サークル関係
  - ・ 異性関係
  - ・ 家族関係
- ### ハラスメント相談
- ・ セクシュアル・ハラスメント
  - ・ アカデミック・ハラスメント
  - ・ その他のハラスメント
- ～ハラスメント被害を受けたら～
- 我慢したり, 無視したり, 受け流しているだけでは, 必ずしも状況は改善されないということを認識することが大事です。
  - ハラスメントを受けたと思われる行為について, 日時・場所・行為の内容, 目撃者などを詳細にメモしておくようにしましょう。
  - 一人で我慢せず, 相談できる人に相談しましょう。
- 10



- ### パワー・ハラスメント
- 言葉や態度による暴力を振るったり, できない執拗な要求をすることで, 相手に精神的苦痛を与えること
- ・ 上司→部下へ
  - ・ (能力の高い)部下→(能力の低い)上司へ
- ※相手を怖いと思っていない
- ・ 自分の背後に権力のある応援者がいる
  - ・ 自分には相手より大勢の味方がいる
  - ・ 匿名性(ネット環境は, パワハラを助長する)
  - ・ 自分は正しいことをしていると思っている
- 12

## アカデミック・ハラスメント

大学・研究機関で起こるハラスメント

- 教職員→学生
- (能力の高い)学生→(能力の低い)教職員
- 学生→学生 研究室である学生が教員役  
サークル活動での先輩の絶対性

パワー・ハラスメントの※を参照。  
学校は、学生が支配されやすい場である。  
・教員による評価の権限は、教員の言動を正当化しやすく、不当に感じても表現しにくい環境である。  
・教員同士が干渉しないため、教員のワンマン性が増しやすい。

13

## アカデミック・ハラスメントの事例

—NPOアカデミック・ハラスメントをなくすネットHPより—

1. 学習・研究活動妨害
2. 卒業・進級妨害
3. 選択権の侵害
4. 指導義務の放棄、指導上の差別
5. 不当な経済的負担の強制
6. 研究成果の搾取
7. 精神的虐待
8. 暴力
9. 誹謗・中傷
10. 不適切な環境下での指導の強制
11. 権力の濫用
12. プライバシーの侵害
13. 他大学の学生・留学生・聴講生・ゲストなどへの排斥行為
14. その他

※別紙資料②をご参照ください。

14

## セクシュアル・ハラスメント

相手が「望まない」言動であること。「性的」な性質の言動であること  
(ジェンダー・ハラスメントを含む)。

- ①性的いじめ  
相手の望まない性的な言動によって屈辱感や不快感を感じさせ、相手の人格や個人としての尊厳を傷つけること。
- ②性的脅し  
明示的または暗示的に、研究教育上ないし職務上の利益または不利益を条件として、何らかの性的な服従を迫ったり、性的な誘いかけを行ったり、性的に好意的な態度をとることや性的関係に入ることを要求すること。
- ③性的ゆすり・たかり  
性的な誘いかけや要求に対する服従または拒否を理由として、研究教育上ないし職務上の利益または不利益を与えること。
- ④性的迷惑  
性的な言動、性的な画面や文書等の掲示または提示により、安全で公平な研究教育環境または職務環境を阻害したり、研究教育上または職務上屈辱感や不快感あるいは不安感を抱かせるような環境を醸成すること。また、その結果、教職員や学生の人格や個人の尊厳を傷つけること。

15

## ハラスメントの対策・予防

- ①組織内(職場・学校)でできること
  - 基本姿勢を持ち、方針を明確化・周知する。  
↓  
「する方が悪いのであって、被害者には非がない」  
「あの人はそんなことするような人じゃない」は通用しない。「ハラスメント行為は許さない」という強い姿勢を貫く。
  - 大学におけるハラスメント防止のためのガイドラインは、**大学と学生との契約書**に当たる。組織としての責任を持って、学生を受け入れる意識。
- ②個人でできること
  - 人権意識を高め、自分自身の言動に責任を持つこと。  
→他者への影響力を考慮し、必ず相手の意向を確認したり、許可を求める姿勢を忘れない。
  - 自分の意思を相手に伝える能力を身につける。  
→相手も自分も尊重したコミュニケーションの仕方を身につける。  
ただし、相手が病的な場合、はっきりと断った方がよい場合もあれば、直接断らない方がよい場合も考えられます。自己判断は危険ですので、専門家に相談することをお勧めします。

16

## もし、ハラスメントを受けたと感じたら

対処法(沼沢 2005)  
←石川由香里(活水女子大学助教授)の講演より

- ①とりあえず、逃げる
- ②落ち着いて味方を作る
- ③学外の相談窓口を訪ねる(参考資料を参照)  
→二次被害を引き起こさないために

17

## もし、相談を受けたら・・・

(二次被害を引き起こさないために気をつけましょう)

- 傾聴する  
→最後まで余計な意見を言わず、共感的に聴く。事実関係の確認をしない。相手を責めない。
- 秘密を守る
- むやみに問題解決に走らない
- 相談者の意思を尊重する  
→自分ひとりで抱えることが困難であれば、相談者と話し合っ、信頼できる相談機関へつなぐ。(相談機関連絡先一覧を参照)

18

## じょうずな話の聴き方

- F: Facing** ★相手の顔や表情をしっかりと見る。  
「きちんと向き合う」ことが相手に信頼感や安心感を与える。手を伸ばすと相手に触れるぐらいの間合い。
- E: Eye-Contact** ★相手の目線を穏やかに見る。  
「私はあなたのことがとても気にかかっています」という心を目で伝える。  
温かい眼差しで・・
- L: Listen** ★少し身を乗り出すように話を聴く。  
「相手の話を一生懸命聴いている」ことを示す。うなずいたり、「そうなんだね」とあいづちをうつ・・
- O: Open** ★胸を開き、心を開いた姿勢をとる。
- R: Relax** ★リラックスした気持ちで聴く。

19